

家づくりに欠かせないドアを『国産の木』にこだわってつくっています

**ユダ木工 株式会社**  
URL <https://www.yudawood.com>

所在地 広島県廿日市市木材港北7-28  
TEL 0829-34-2777  
FAX 0829-34-2778  
創業 1924年  
従業員数 50人



長く使えて心地よい木製のドアで「自然」の大切さを感じてほしい

1924年に創業したユダ木工は、ベテランの職人による“木のあたたかみ”を感じさせる木製ドアや玄関ドアをつくっています。「使い込むほどに美しく、手入れをしながら愛着が持てる扉を」という思いをドア1枚1枚に込めています。また、製品を長く大事に使うことは、ゴミを減らすことにつながり、地球環境に優しいことと考え、よりよい世界にするための目標である「SDGs」にも積極的に取り組んでいます。



ドアはどんなふうにつくられるの？

国産ヒノキなどの木材の乾燥から木取り、加工、塗装まですべての作業を自社工場で行っています。

1 乾燥

木材にゆがみや反り、ひび割れなどを起こしにくくするための重要な下処理です。7~10日間かけてじっくり乾燥させていきます。

2 木取り

木材の状態や特徴を見ながら材料を切り出します。木目の方向によって強さや柔らかさが違うので、職人の目でしっかり見極めます。

3 節理め

『節』にはヒノキの枝をていねいに埋め込みます。木材を無駄にしない、大切な作業です。

4 加工

作成する製品に合わせて木材の幅を決めたり、節や木目をなめらかにしたりします。きれいな仕上がりのために、すみずみまでチェックします。

**知っておきたい“木”のことクイズ!**

Q. ヒノキが木材として使用される大きくなるまで、何年かかるの？

答えは右ページにあるよ!!

5 塗装

表面をサンドペーパーでこすり、塗料の浸み込みを調整します。表面が荒いと色は濃く、細かいと薄くなります。着色・乾燥を3回繰り返します。

6 完成

国産ヒノキを使った玄関ドアの完成!寒い地域ではドアを厚くして冷たい外気が入りにくくする工夫もしています。

板に節穴が空いていても、ちょっとした工夫で立派な木材として利用できるんだね!

大切な自然を守るために

限りある自然を守り、育てていくために、木製ドアをつくるときにこんな取り組みをしています。

メンテナンス

ドアはメンテナンスをするといつまでも使用できます。年数がたつと木の風合いも楽しめます。

国産ヒノキを使う

ユダ木工のドア製品のうち、98%が国産ヒノキでできているんだって!

国産ヒノキを使うことで木の植樹と伐採のバランスを保ちます。これは山を守る大切な取り組みです。

木をムダにしない“ちょこっとエコ”

木くずが余ってもったいない

チッパーで粉砕 → 蒸気式乾燥機 → ボイラーで蒸気をつくる

木材を乾燥させるために使う燃料には、工場が出た木くずを使用しています。木材をムダにすることなく使い切ります。

塗料は体に優しいものを

2005年から自然由来の塗料を使用しています。つくり手やお客さまの安心で快適な暮らしにつながっています。

こんな人たちが働いています

中国・四国地方の会社を担当し自社製品を紹介しています。お客さまに信頼していただけるよう、納期などはしっかり守るようにしています。

営業部 義志さん

私たちの仕事は植物の“命”をいただき、人々の生活に役立つ「ドア」をつくることです。木に触れる楽しさ、木を使う楽しさを毎日使うドアで感じていただくために、ていねいにつくっています。木でみんなが笑顔でいられるように日々頑張っています。

こんな活動も行っています

『漁民の森づくり』という活動に賛同して山の環境を守る取り組みをしています。おいしいカキが採れるのは広島湾がきれいで、カキのエサとなる植物プランクトンが豊富だからです。その植物プランクトンに栄養を与えるのは太田川です。さらに太田川の水源となるのは中国山地です。このように山と海はつながっています。

漁民の森づくり

カキのごはんのごはん

カキのごはん

カキ

A. ヒノキは植えてから直径30cmになるまで約70年かかるんだって!1本の木が木材として使用されるまでにはとても長い年月がかかっていて、貴重な資源だね。

合言葉「葉っぱの世紀のはじまり」

地球に生き物が生まれたのは、およそ30億年前から続く植物の葉っぱの光合成によってできた酸素のおかげです。植物がなかったら、今の私たちも存在していないかもしれません。「葉っぱの世紀のはじまり」は、そうした気づきから生まれた、私たちの合言葉です。